

tacoPot ~ folksonomy により効率と利便性の高い検索を提供 ~

サーバによる集中管理

巨大掲示板や blog、wiki などの流行もあいまって web における情報の増加はとどまるところを知りません。更に検索エンジンの性能向上により、入手できる情報も膨大な量になりました。しかしその反面、検索結果から本当に必要な情報を抽出し管理するために、多くの時間が費やされてしまいます。

検索や情報管理をより容易にすることで、知的活動の生産性向上、ナレッジシェアの効率向上を図ることができると考えられますが、このためには新たな検索/管理手法と、実現のための検索エンジンが必要となります。

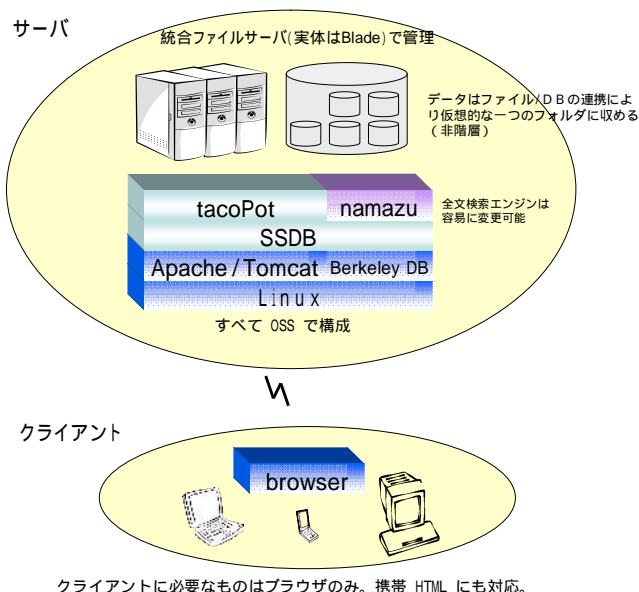
ユーザ視点の検索

新たな検索/管理の基本コンセプトは、従来の全文検索に加え、ユーザ視点で付けられたキーワードやコメントを基にして検索するというものです。

昨今では SBM(Social BookMark) など、folksonomy によるカテゴライズが流行の兆しを見せており、ここで紹介する検索エンジン「tacoPot」も folksonomy を基本コンセプトにしています。

情報を一つの壺 (pot = サーバ) に集約して一元管理を行うことで、セキュリティを高め、管理の負荷を軽減することが可能となります。

また、クライアント PC から個別管理のファイルが削減され、情報の検索性があがるとともに再利用も容易になり (利活用の促進) かつ、セキュリティ管理も低減できます。



非階層で情報を格納

Windows ディレクトリのような階層構造は一見整理されているように見えますが、利用者視点で考えると、「階層構造を理解しており、どこに何があるかを把握している必要がある」「情報にアクセスするために階層を手繰る必要がある」「階層の変更は困難」など、いくつかの問題があります。

tacoPot では、「利用者は階層を意識せず検索により情報を得る」という考えに基づき、情報を非階層で提供します。



folksonomy とは、folks (人々) + taxonomy (分類学) という二つの言葉を組み合わせた造語で「人々による分類」というような意味を持ちます。

階層型ツールでは「階層を知っていて」かつ「階層の深さの数だけ下って」いかなくてはなりません。



Web検索のように キーワードを入力するか、登録したタグを選択するだけで関連するファイルが表示されます。



利用者はどこに何が格納されているかを意識することなく自然な語句、利用者視点で紐付けられたキーワードを元に情報を探し出すことができます。

OSSでリーズナブル

OSS ですから利用に際しソフトウェア購入費やライセンス料はかかりません。

費用がかからずとも保守の面でも心配は無用です。実績のある OSS で構成されていますのでコミュニティも充実しており、万が一不具合が生じてもソースコードが公開されていますので迅速な対応が可能です。

tacoPot の狙い

私たちは、次世代の検索手法とそのエンジンをナレッジシェアのための情報基盤（インフラ）として提供し、利用者の知的活動支援の効率改善と活性化を図りたいと考えています。

連絡先

<http://www.tyzoh.jp/> adtech-box@unisys.co.jp

日本ユニシス株式会社 先端技術部

〒135-8560 東京都江東区豊洲 1-1-1

TEL 03-5546-4111